

学校支援ボランティアだより2



編集・発行 福崎町学校支援実行委員会・福崎町教育委員会



「学校支援地域本部」の活動に感謝

福崎町教育長 高寄 十郎

子どもは家庭・地域・国にとって宝物です。子どもたちが、心身ともに健全に育ち、地域に貢献してくれることが社会の発展にとっても大切なことです。子育てに対して今日、家庭と地域の連携力は学校力を構築する上で重要な要素です。急激に変化している社会・教育界のなかにおいて“学校・家庭のみならず、社会全体として子どもの教育を支える”理念が期待されています。そして、学校と家庭や地域社会が知恵と力を出しあって何ができるか、なすべきことは何かを考え、実行していくことが望まれています。

この点、福崎町でも平成20年度から地域ぐるみで学校運営を支援する体制を整備する「学校支援地域本部事業」を展開しています。ご支援・ご協力を賜っているボランティアの皆さんには心から感謝しております。この事業のねらいは、周知のごとく第一に「学校教育のさらなる充実」です。教員だけでは担いきれない、あるいは教員だけがすべて行う必要のない業務について地域が支援することにより、教員の子どもと向き合う時間、教材準備等に充てる時間をより多く確保することにあります。第二に「生涯学習の実現」です。地域住民がこれまで培ってきた知識や経験を生かす場が広がるとともに、自己実現や生きがいづくりにつながることで、第三に、「地域の教育力の向上」です。地域住民が学校支援活動に参画することで、住民と児童・生徒、教員、地域住民同士の交流が行われ、地域の教育力の向上、学校を核とした地域の活性化が図られるという効果です。

実際に、「子どもたちが地域住民と交流することで、教育環境の改善や学力や規範意識、コミュニケーション能力の向上につながっている。」「地域住民が支援することにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化につながっている。」「地域住民が学校を支援することにより、教員が授業や生徒指導などにより力を注ぐことができる。」等、成果の声が聞こえ嬉しい限りです。今後も、地域の皆さんのご支援により福崎町の子どもが“より健やかに、よりこころ豊かに、よりたくましく”成長することを確信して、感謝の意を述べます。



ボランティアのみなさん ありがとう!



今年度の学校からの依頼の多くが、草刈りや樹木の剪定でした。暑い日が続いていましたが、児童・生徒たちが気持ちよく過ごせるようにと、暑い中、大変な作業に協力してくださいました。幼稚園での作業は園児たちと一緒に活動できたこともあり、子どもたちから、逆にパワーをもらえたと喜んでくださるボランティアさんの声を聞くことができました。直接、子どもたちの声をボランティアの皆さんに、お届けすることはできていませんが、子どもたちも、先生方も、学校支援実行委員会も、感謝しています。ありがとうございます。

こんな活動が行われました!

夏休みチャレンジスクール



“ポンポコたぬきを作ろう”

ボランティアの方からいただいた木を使って、ポンポコたぬきと無事カエルを作りました。残った木を使ってブタやうさぎを作るなど親子そろって、発想豊かに楽しみました。



“将棋教室”

お父さんお母さんでも、出来ない方が多くなってきている将棋ですが、ボランティアの先生方のいねいな指導のもと、将棋体験から真剣勝負まで行いました。集中力も養われました。



サマースクール



今年度も、夏休みの勉強対策として、小学校高学年(4・5・6年生)を対象に“自習室”を提供しました。みなさん、熱心に取り組み、ボランティアの先生方も親切ていねいに指導してくださいました。児童からは来て良かったという声をもらいました。

ウィンタースクール



今年度のウィンタースクールは、昨年度より早く、10月から中学3年生を対象に毎週土曜日に“自習室”を提供しました。受験を控えている生徒たちは、目的意識を持って学習に取り組み、ボランティアの先生方にも熱心に指導をしていただきました。生徒の頑張る姿にパワーを感じました。

講演会も行われました

ボランティア養成講座

6月5日(土) 19:00~

『おやじの輝きは、こどもたちのはばたき』

講師 ひょうごおやじネットワーク世話人

黒田 賢治氏

*おやじ自らが楽しみ、笑顔・頑張っている姿・助け合う姿勢・そんな「おやじの背中」を子どもや家族・地域の人たちに示し、おやじの魅力・活力のアップを目指す、パワフルな講演でした。

子どもを豊かに育てる教育講演会

10月23日(土) 14:00~

『子育てに欠かせないもの

~躰の大切さ~』

講師 ころ豊かな美しい兵庫推進会議会長

野尻 武敏氏

*物が豊かになり、人間が貧しくなっていると感じる現代。親の意識改革の必要性、子どもを取り巻く家庭・地域での、子どもへの躰の大切さをご講演いただきました。



各小学校では...

学校と地域の連携により、学校内の巡視活動“スクールヘルパー”や、登下校の見守り活動“地域ヘルパー”の活動が盛んに行われ、子どもたちを地域で育てるという、協力体制が整いつつあります。子どもたち、家族にとって、大変心強いことです。

*ヘルパー活動

スクールヘルパー... 午前・午後各3~5名ずつによる校内巡視

地域ヘルパー... 一斉下校時の下校時見守り
(1自治会で2~3箇所)

	スクールヘルパー	地域ヘルパー
福崎小学校 (175名)	毎週火・木曜日	毎週金曜日
高岡小学校 (52名)	毎週水曜日	毎週水曜日
田原小学校 (95名)	毎週月・水・金曜日	毎日
八千種小学校 (126名)	毎週火・木曜日	毎週水曜日

たくさんの方々のご協力、ありがとうございます。引き続きよろしくお祈いします。

ボランティア募集中!

福崎町学校支援実行委員会では、ボランティア登録を随時受け付けております。“何かできるかな?” “何かしてみようかな?”と思われている方、ぜひ登録をお願いします。

特に、“**剪定・草刈り**”、サマースクール・ウィンタースクール・学校での“**教科補助**”のボランティアを募集しています。ぜひ福崎町学校支援実行委員会事務局まで、お問い合わせください。

学校支援地域本部事業

お問い合わせは

福崎町学校支援実行委員会・福崎町教育委員会

事務局 福崎町福田176-1(福崎町文化センター内)

TEL 22-3755 FAX 22-2561

E-mail bunka@town.fukusaki.hyogo.jp